



せせらぎを聞きながら、ゆっくりウォーキング

新緑に包まれた小田深山で深呼吸 「春の小田深山ウォーク」

新緑の小田深山を散策する「第2回春の小田深山ウォーク」(小田深山イベント実行委員会主催、高本師津雄しすお会長)が6月8日、小田深山溪谷で行われました。

180人の参加者は、雨上がりのみずみずしい緑を眺めながら、約14kmの散策を楽しみました。途中の休憩所では、小田商工会女性部のメンバーが特産の菓子やお茶を振る舞うなど、地域が協力してイベントを盛り上げていました。

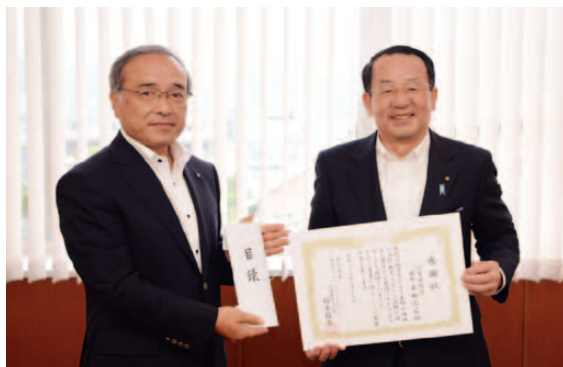


川沿いの木々に囲まれた憩いの空間

小田川のほとりで楽しむ1日 「小田川コットントン」

平岡自治会(田中光あきら自治会長)が進める地域づくりの一環として「小田川コットントン」が6月15日、小田川河川敷公園の「五十崎の杜」で開かれました。

町内外から40団体が参加。カフェや手作り雑貨店などが並び、多くの人でにぎわいました。田中会長は「ここを地域の憩いの場にしたい。経験を重ねて楽しいイベントに育てるので、ぜひ参加して」と呼び掛けました。



本田元広頭取(右)には感謝状が贈られました

からりを自転車で利用する人のために 愛媛銀行がサイクリングスタンドを寄贈

愛媛銀行(本田元広もとひろ頭取)から内子フレッシュパークからり(稲本隆壽たかし会長)にサイクリングスタンドが贈られ、6月17日に内子町役場で贈呈式が行われました。

からりはサイクリングの休憩場所や目的地として多くの人が利用していますが、自転車を留める場所がありませんでした。本田頭取は「お客さんの利便性の向上、景観づくりに役立ててほしい」と話していました。



最後は行進しながらの演奏で参加者と交流

音楽を通じて心をひとつに 「愛媛県警音楽隊ふれ愛コンサート」

小田幼稚園・小学校・中学校の新築移転を記念した「愛媛県警音楽隊ふれ愛コンサート」(内子町文化交流センタースバル主催)が6月20日、内子町文化交流センタースバルで開かれ、生徒・児童など約300人が参加しました。

「アナと雪の女王」のテーマ曲の演奏の他、生徒が指揮や、踊りなどで参加。会場の全員で校歌を斉唱するなど、音楽を通じた交流を楽しんでいました。

標高1,500mで満開のツツジがお出迎え 笠取山の尾根散策で感じる大自然

笠取山の尾根とツルギミツバツツジを楽しむイベントが5月28日と6月1日に行われ、約50人が参加しました。

参加者は、ガイドの説明を聞きながらの尾根散策や標高1,500mを超える大川嶺での昼食など、豊かな自然を体中で感じるひとときを過ごしました。真っ赤に咲いたツツジはまさに見頃で、「ここ数年で一番きれい」と参加者から喜びの声が上がっていました。



好天に恵まれ、爽やかな散策を楽しむ参加者

俳優3人が伝える石巻市の今 舞台劇「イシノマキにいた時間」

震災後の石巻市でボランティア活動をする若者を描いた舞台劇「イシノマキにいた時間」(同実行委員会主催)が5月31日と6月1日の2日間、内子座で開かれました。

出演は福島カツシゲさん、石倉良信さん、田口智也さんの3人。彼らのボランティア体験から生まれた作品で、被災地にいる人たちの思いが込められています。笑いあり涙ありの物語に、会場は大きな拍手で包まれました。



3人の演技力が観客を引き込む

素晴らしい演技で観客を魅了 「第34回五十崎芸能発表会」

内子町文化協会五十崎支部(稲月功いさお支部長)は6月1日、内子町共生館で芸能発表会を開きました。

12団体・約200人が出演。ダンス・詩吟・舞踊・琴・三味線などのほか、特別出演として大鳳出世太鼓保存会の子どもたちによる太鼓や五十崎中学校吹奏楽部の演奏が披露されました。出演者の晴れ舞台に多くの観客が集まり、それぞれの演技に見入っていました。



子どもたちの元気な太鼓演奏

ホタル、たくさん飛んでたよ 石畳地区・麓川でホタル観察会

子どもたちに石畳地区の自然とホタルを見てもらい、環境に対する関心を高めてほしいと「ホタル観察会in石畳」(内子町主催)が6月7日、石畳自治会館と麓川で開かれました。町内の小学生など81人が参加。石畳を思う会の大木雄たけしさんの話を聞いた後、ホタルを観察しました。初めてホタルを見た子もおり「雨上がりだったのに、たくさん飛んでいてきれいだった」と喜んでいました。



観察したホタルの絵を描く子どもたち